



みどりの風

公益財団法人
 奈良市生涯学習財団 月ヶ瀬公民館
 奈良市月ヶ瀬尾山 2815 番地
 TEL&FAX 0743-92-0346
 発行人 館長 上田 善紀
 発行日 平成28年12月16日(金) 第10号

こんな講座をしました

〜紅花染めに挑戦〜



12月20日(金) 辰巳洋子さん(月瀬)を講師として、市内から集まった12人が紅花染め体験を楽しみました。

辰巳さんは、若い頃、独学で試行錯誤を繰り返しながら紅花染めをしていた時、村の鳥梅が縁で、京都の著名な染色史家と出会い、平安朝から続く染色技術を習う機会を得たということなのです。

数日前より一番灰汁を作るなどの下準備を整えていただき、この日は紅花を押し絞る作業から始めました。作業しながら辰巳さんの話に耳を傾けつつ、美しいピンクのスクarfを仕上げました。



楽しい語り口調で場も和やかに

■辰巳洋子さんの話…「美しく染めてやる」という意気込みを持って作業をしようとしたので、皆さん、とても美しいピンク色に染められたと思います。

■参加者の感想…素敵なスクarfが出来上がり大満足です。次は、ぜひ鳥梅づくりを見学したり梅の実を拾ったりしてみたいです。

こんな講座をしました

〜大根づくり〜



9月半ばに種まきをした大根を、天候に恵まれた12月9日(金)、6名の皆さんが収穫しました。十分な肥料を施していただいた大屋茂夫さん(尾山)のおかげでしっかりと太った大根をたくさん収穫することができました。



収穫した大根を手に手に
大屋 茂夫さんを囲んで記念写真

■大屋 茂夫さんの話…皆さん、満足して帰っていったこととほっとしています。野菜づくりの楽しさを、少しでも感じてくれたこととよろこびます。

■参加者の感想…30本収穫できました。スパーに並んでいるものより立派。大屋さんには、いっぱい教えてもらった。それも「人生の収穫」だと思っている。今日は、料理法も教えてもらった。さっそくキムチを作ってみるつもり。本当に参加してよかった。

梅の里学級

梅の里学級⑤

〜クリスマスコンサート〜



12月7日(水)、最終回となる梅の里学級では、音楽家の有山優子さんとピアニストさんをお招きして、あわただしい師走のひと時、澄んだ歌声とピアノの響きに、おだやかな1時間半を過ごしました。



会場と一体となったステージでした。

今月の飾り



遠近の外灯一斉たしかね 月城 すま
 夕映えに解けぬ疑問や日の短か
 稜線は透きとほるあか冬入口 由姫子
 産土に紡ぐ古代の紅椿 節子
 一生を動く決めて初日の出 惠翠
 木枯らしに負けるものと立つ道標 利明

(月ヶ瀬十一月句会より)

月ヶ瀬薫風

4月から、実に多くの「月ヶ瀬の人材」の方々と触れ合うことができ、ますます、卓越した技能や知識、豊かな経験をお持ちの方々がとても豊富であると実感し、また聞かせていただく様々なお話がたいへん興味深いものがあります。一度お会いしてお話をうかがいたい方々がまだまだたくさんいらっしゃいます。その機会に恵まれないものです。今号では、辰巳洋子さんを紹介させていただきました。著名な染色史家、吉岡幸雄氏に師事、植物染めや柿渋染めにも携わっております。▼文化祭がご縁で、月ヶ瀬俳句会の皆さまのお作を掲載しています。▼今年も押し詰まりました。みなさま、どうぞよいお年をお迎えください。

茶芽子クラブ

もちつき大会



12月10日(土)、最終回となった茶芽子クラブでは、年間30日、もち作りのしているスペシャリスト、徳家眞さん(まこと)を講師として、もちつきを楽しみました。もちつきが食中毒の要因となっているニュースを受けて、保健所からの注意事項をしっかり踏まえ、衛生面には十二分に気をつけて、もち米を蒸し、石臼と杵でおもちをつきました。

作ったおちは、あんこきな粉をつけていただきました。



杵(たてきね)を使って、みんなで“千本もちつき”を楽しみました。

■徳家眞さんの話…子どももそれぞれに役割があったお正月を迎える準備も、月ヶ瀬でも次第に見かけなくなってきたのがさみしい。公民館で今日のようないろんな行事があることで、その一端を味わうことができた。とても楽しかった。

茶芽子

「これまでをふりかえっての感想」



- 井岡 悠人くん(2年)：これまでの中では、たこ焼きが一番楽しかった。みんなで食べたから。
- 畑家 悠真くん(3年)：3回目のもちつきだったけど、もちつきがだんだんおもしろくなってきた。
- 大谷 綾乃さん(3年)：手であんこをつけたら、ほろほろしたのよかった。よかった。
- 東谷 桜大くん(3年)：5回の中では、やっぱりたこ焼き作りがよかった。なかなかおいしかったよ。
- 西浦 爽さん(3年)：公民館が楽しそう。しょうらい、公民館で働いてみようかな。
- 相和 巧雅くん(4年)：かまどの火に、まきの皮をはがしてくべたことが楽しかった。
- 南 大和くん(4年)：楽しかったし、おもちもおいしかった。
- 尾上 崇和くん(5年)：もちを蒸す火がパチパチとして楽しかった。
- 畑家 快翔くん(5年)：自分がついたもちだから、おいしかったに決まっている。
- 西脇 春菜さん(5年)：これまでの中ではフロッカーが一番印象に残っている。優勝できたから…。

月ヶ瀬小・中学生のみなさんへ



言葉をたくさん知ろう

— 語彙(ごい)力を高めよう —

茶芽子クラブで餅つきをした時のこと。指導してくれた徳家眞さんが「ご飯は炊(たく)だけども、もち米は蒸(む)す」といふんだよ」と教えてくれました。私は、このことをとても大切なことだと考えています。

言葉のちょっとした使い方の違いを知るとは、人として幅広い魅力をつくってくれます。言葉が豊富に使えることを「語彙(ごい)力」といいます。ベストセラー『声に出して読みたい日本語』の著者斎藤 孝さんは「語彙力が教養だ」といっています。中学1年の国語で学習する小説『少年の日の思い出』の文章には、「見る」「見つける」「ながめる」という言葉が出てきます。それぞれの言葉の意味をていねいに考えることで、味わい深い読みがてきめんのです。

天(あま)は「揚(あ)げる」年(とし)越(こ)せば「ゆ(と)る」カ(か)リーは「煮(に)じる」チャーハン(チャーハン)は「炒(いた)める」ジャガイモ(ジャガイモ)は「ぶ(か)す」…身近な生活の中でも、言葉の使い分けを知っておきたいと、徳家さんの言葉で再確認しました。

月ヶ瀬子 大活躍!!



12月25日〜28日、大阪市中央体育館でJOCシニアオリンピックカップ第30回全国道府県対抗中学バレーボール大会が開催されます。奈良県選抜選手として尾上一樹くん(桃香野)が12人の中の一人に選ばれました。予選で神奈川・愛知代表と対戦することになっています。



■尾上一樹くん(中3)：週3日、田原本まで合同練習に行っている。これまで僕は、自分がやることはすべてやってきたつもりだ。しっかりと声を出すことや確実なカットとスパイクが評価されたのだと思う。



「コートに立つ以上、ボールを絶対に落とさないぞというねばりを見せたい」と意気込みを話す尾上くん。